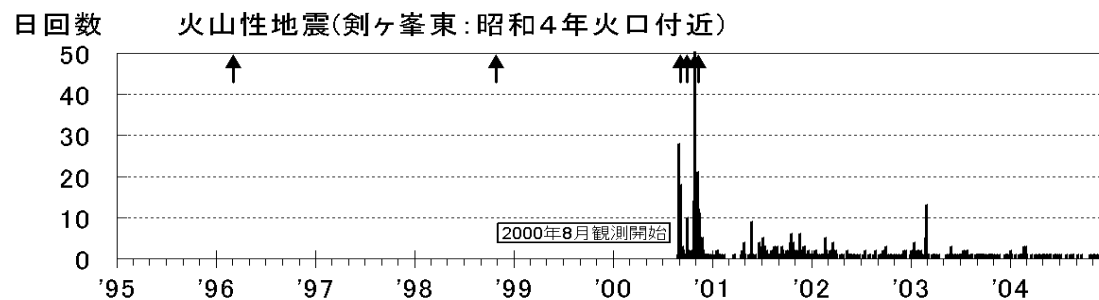
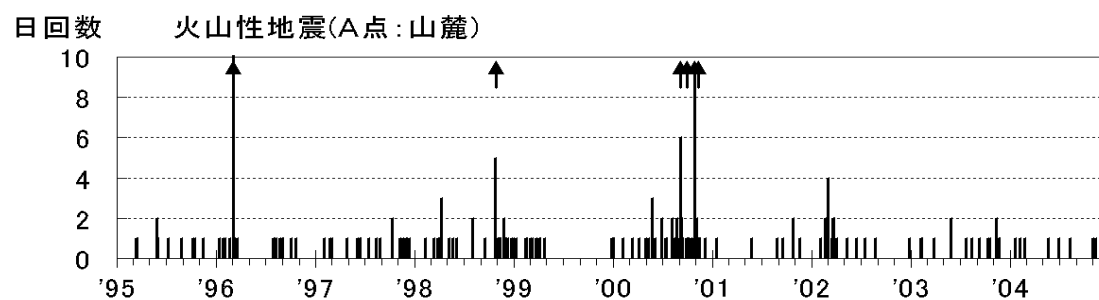
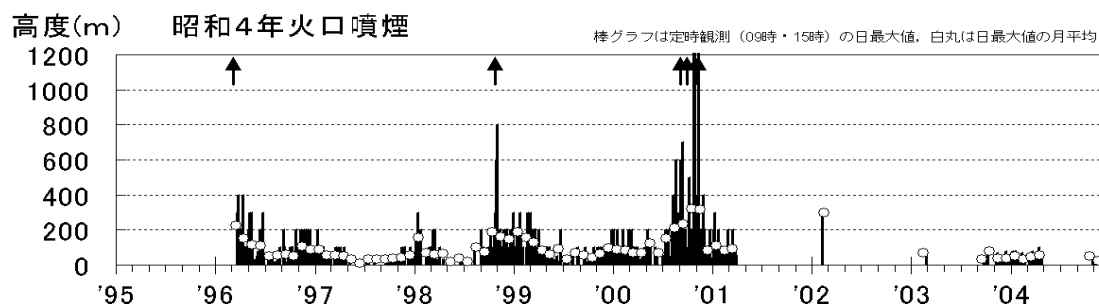
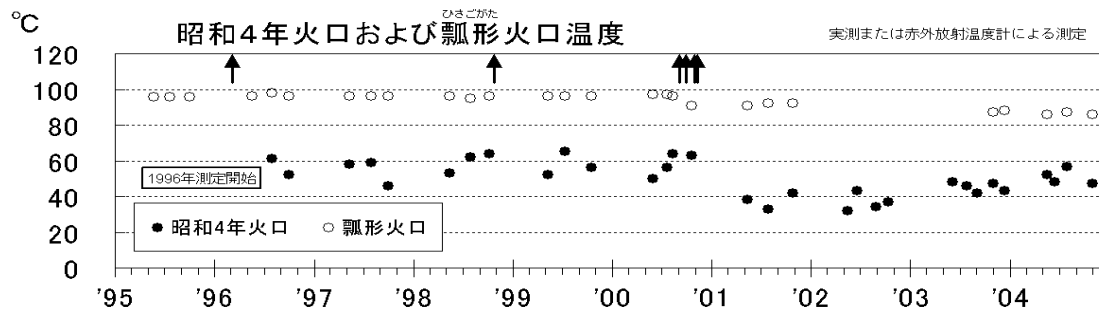


北海道駒ヶ岳

1 概況

火山活動はおおむね静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、昨年 9 月以降見られている弱い噴気は引き続き観測されています。

また、1996 年から 2000 年までの間に小噴火が繰り返し発生しており 1929 年大噴火や 1942 年中噴火の前の状況に類似しています。しばらくは活動推移を見守る必要があります。



最近の火山活動経過図（1995 年 1 月 1 日～2004 年 11 月 30 日） ↑印は噴火

2 噴煙の状況

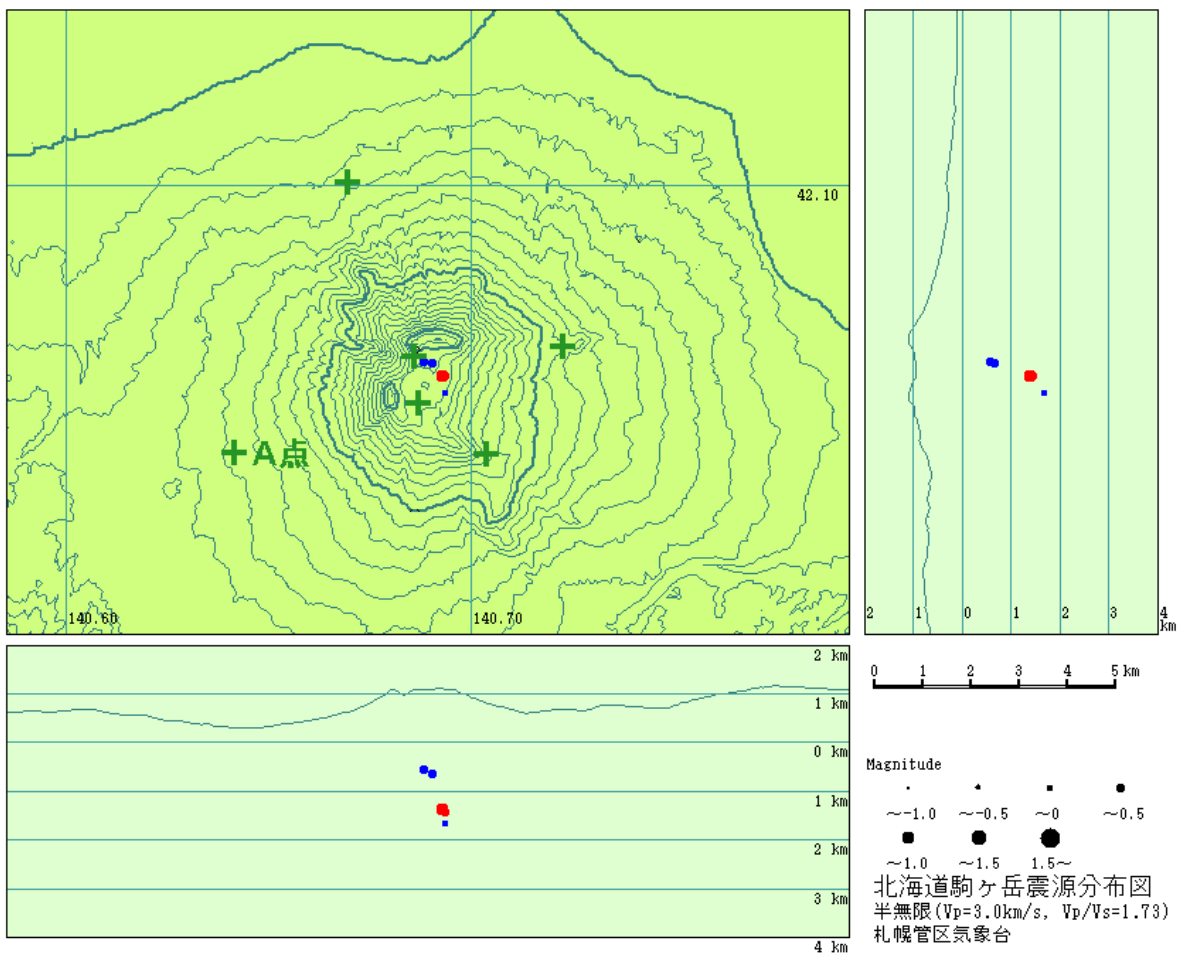
2003 年 9 月以降、昭和 4 年火口からの弱い噴気がしばしば観測されていますが、今期間も一時的に観測される日がありました。

3 地震の発生状況

今期間、A 点で観測された火山性地震は 2 回で、山頂観測点で観測されるごく微小な地震も少ない状況でした。2001 年以降、地震活動は静穏に経過しています。火山性微動は 2001 年 1 月以降観測されていません。

地震・微動の月回数（A 点）

2003～2004 年	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
地震回数	0	1	2	0	0	1	1	0	1	0	0	2
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



北海道駒ヶ岳の震源分布図（丸印：震源 +印：地震観測点）

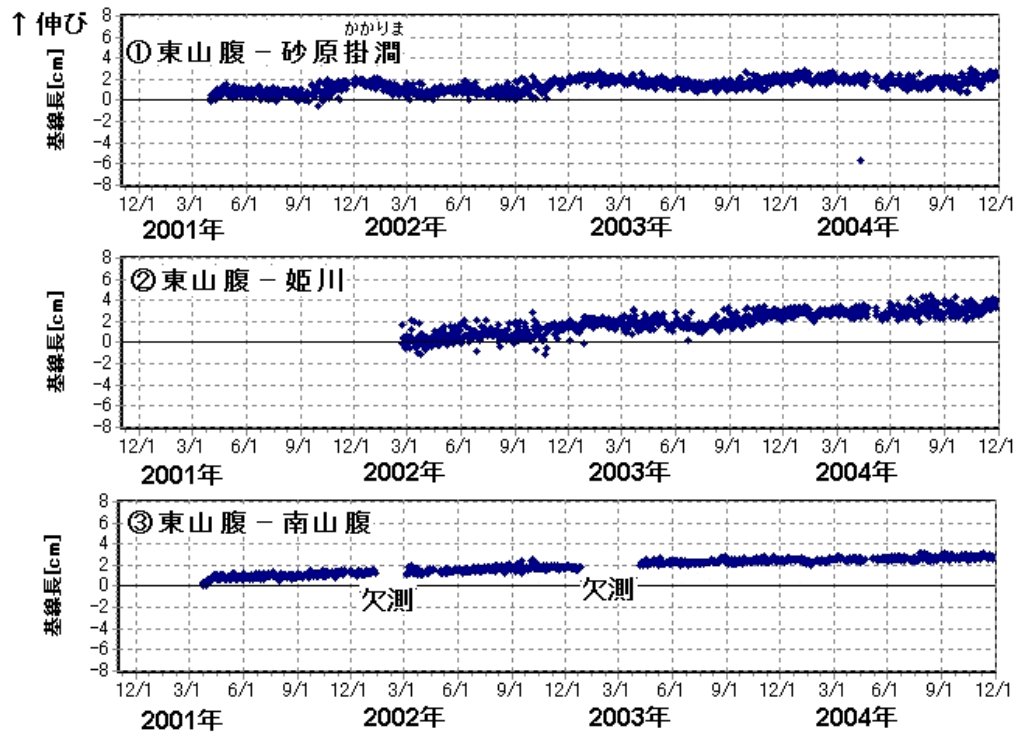
赤丸は今期間（2004 年 11 月 1 日～11 月 30 日）に求まった震源を示しています。

青丸は前期間までの 11 ヶ月間（2003 年 12 月 1 日～2004 年 10 月 31 日）に求まった震源を示しています。

過去の震源分布は大きく分けて山頂火口原直下の海拔付近と海拔下 1～2km に集中しています。このほか、山麓のやや深いところ（5～10km）を震源とする地震も時折発生していますが、十分な精度が得られないためこの図には表示していません。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、季節変動の影響も見られますが、わずかな山体膨張を示す基線長の伸びの傾向が引き続き認められています。



基線長変化（2001年3月23日～2004年11月30日）

